

取扱説明書 : Ver 3.00

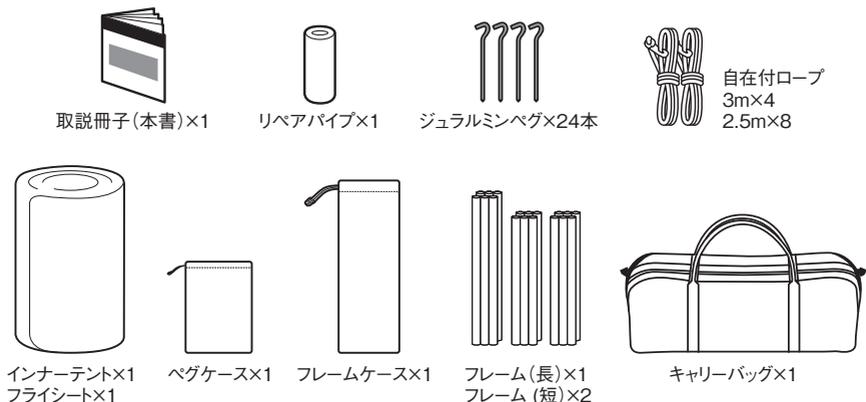
SDE-080-IV-US

ヴォールト アイボリー



このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

■ セット内容



安全上の注意事項

ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険

明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お客様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



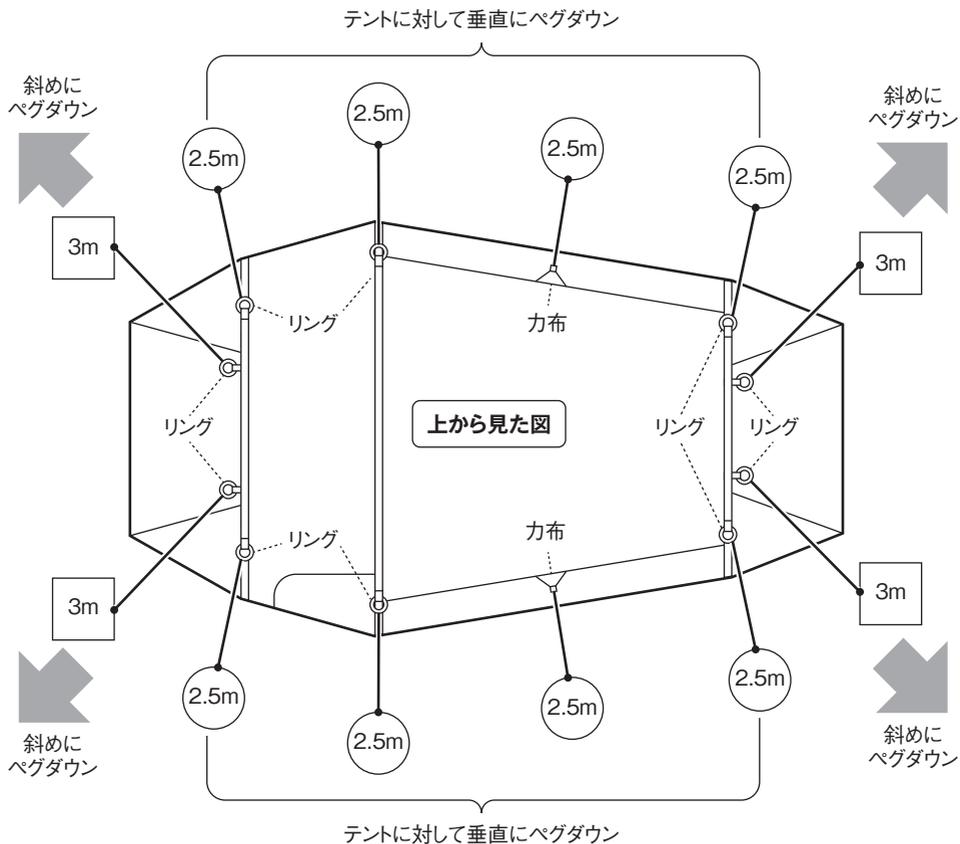
⚠ 注意

ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

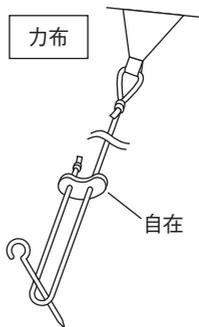
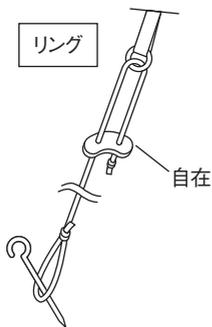
- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかり支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ベグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。

フライシートへの自在付ロープの取付けとペグダウン方向

※次ページ(P3)の手順に従って作業してください。



■ ロープの取付け方



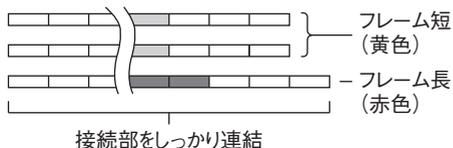
設置手順 必ず2人以上で設置してください。

- ① フライシート(アイボリー色)を平らな場所に広げてください。

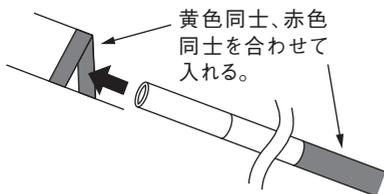
※基本的に前室は風下に向けてください。風上に向けると、風雨が侵入するばかりかドアを開けた際に突然風が入り、本体を破損する場合があります。

- ② フレーム長×1、フレーム短×2を伸ばし、接続部をしっかりと連結してください。

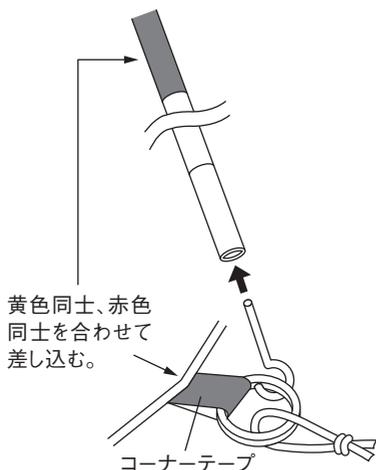
※フレームの連結部分にすぎ間ができないように、しっかりと差し込んでください。



- ③ ★印の箇所を確認し、スリーブにフレームを通してください。スリーブとフレームの色を確認してください。

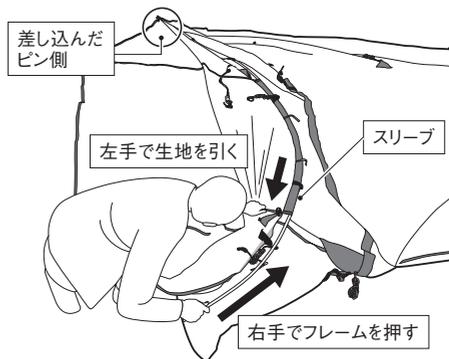


- ④ ▲印の箇所を確認し、フレームの末端にフライシートコーナーにあるピンを差し込んでください。フレームとコーナーテープの色を合わせてください。

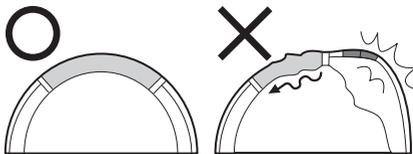
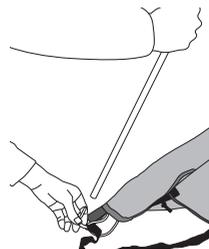


- ⑤ 差し込んだピン側へフレームを押し込みながら生地を引いてください。フレーム中央の黄色または赤色の部分が、スリーブ内に完全に隠れるようにしてください。

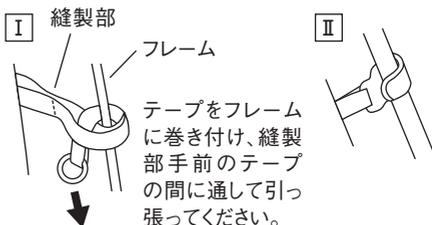
※過度に生地を引きすぎないでください。生地本体もしくはフレームが破損する恐れがあります。



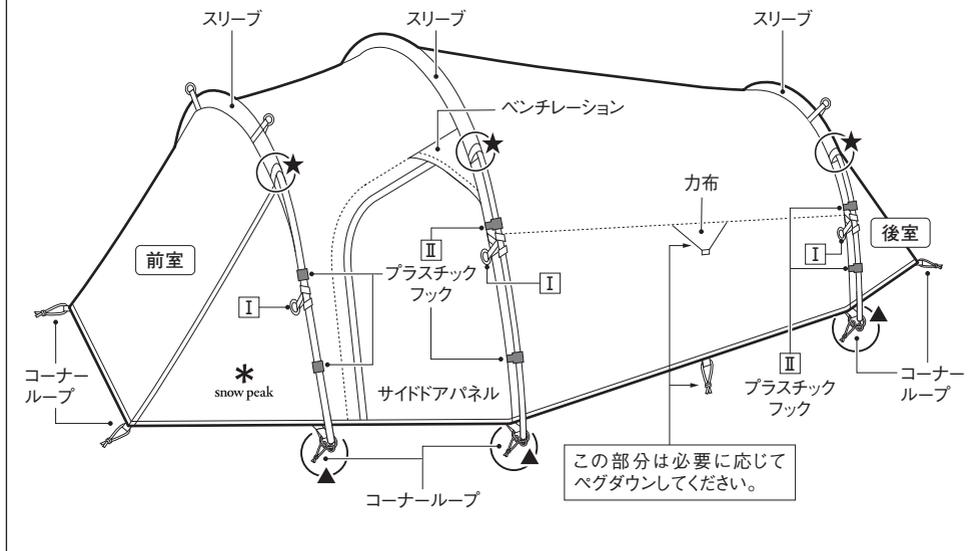
- ⑥ スリーブ部がズレないように注視し、フレームとピンを持ち、ゆっくりとフレームの端部にピンを差し込んでください。フレームを一方から強引に押し込むと大きく湾曲し、破損の原因になりますので反対側の人と声を掛け合いながら行ってください。



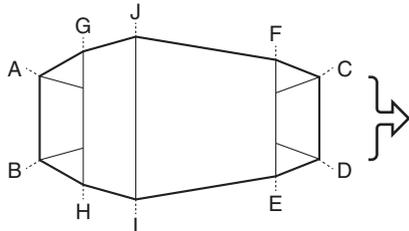
- ⑦ Ⅰのテープをフレームに巻き付けてください。Ⅱのフックをフレームに掛けてください。



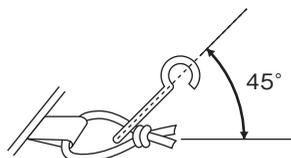
各部名称



⑧ 各コーナーループに下図の順でベグダウンしてください。



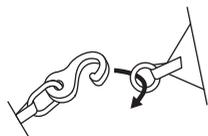
C、Dをベグダウンする時に全体を引張りながら、たるみの無いようにしてください。



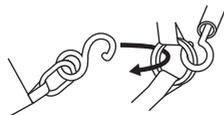
ベグは地面に対して45°で打ち込んでください。

⑨ 前ページ(P2)に従いロープを取付け、ロープもベグダウンしてください。

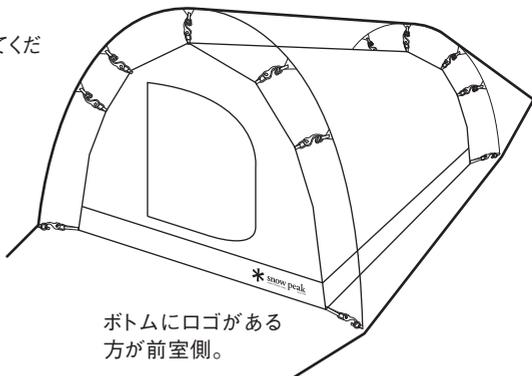
⑩ フライシートの中に入り、インナーテントを吊るしてください。



ウォール部はプラスチックリングに掛けてください。



ボトム部はコーナーのリングに掛けてください。



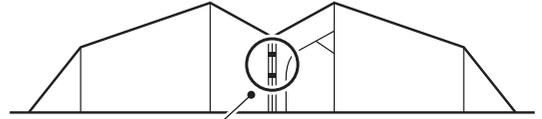
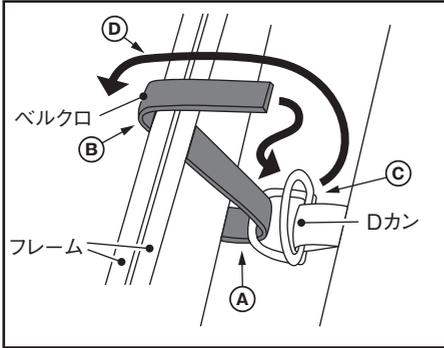
ボトムにロゴがある方が前室側。

ドッキング

本テントを2つ購入すると簡易的にドッキングが可能です。

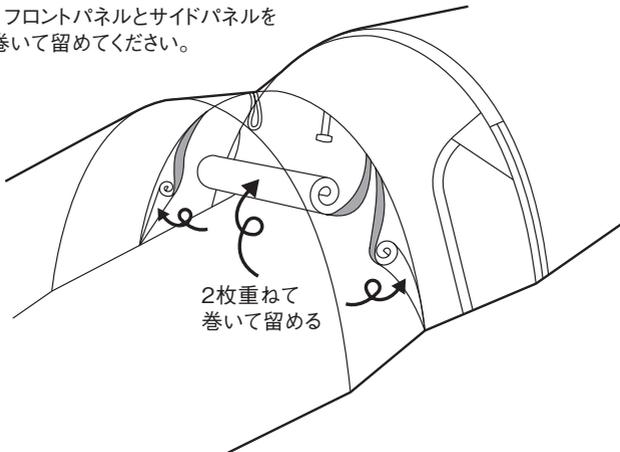
※完全にドッキングはできません。また、テント同士の連結機能は雨による漏水を防ぐ機能はありません。雨が予想される場合は連結を解除してください。

- ① 2つのテントの前室と前室(後室同士、もしくは前室と後室でも可)を合わせ、ベルクロで固定してください。片側2ヵ所、計4ヵ所。

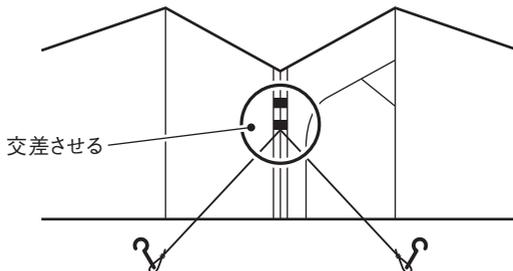


- ① テープを1つめのDカンに通してください。
② 2本のフレームに巻き付けてください。
③ もう一方のDカンに通してください。
④ 最後にベルクロで留めてください。

- ② 室内に入り、フロントパネルとサイドパネルを2枚重ねて巻いて留めてください。



- ③ 自在付ロープを交差させ、ハグダウンしてお互いに引き寄せてください。

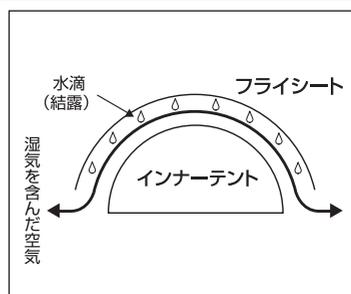


撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナーテントを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナーテントや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- テントの中に何も入っていないこと、すべてのパネルやファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリアバッグ等を傷付けることがあります。

結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ボトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。



撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス方法

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。また、ボール内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

こんなときは

Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

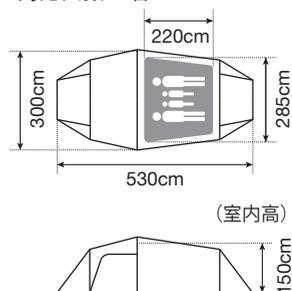
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- 材質:本体/75D難燃性ポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニナム・撥水加工・UVカット加工、インナーテント/68D難燃性ポリエステルタフタ、ボトム/210D難燃性ポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニナム、フレーム/A6061(φ13mm)
- セット内容/テント本体、フレーム長、フレーム短(×2)、ジュラルミンペグ(17cm×24)、自在付ロープ(3m×4、2.5m×8)、リペアパイプ、キャリアバッグ、フレームケース、ペグケース
- キャリアバッグサイズ:66×25×25(h)cm
- 重量:7.9kg

- 対応人数:4名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社
ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel.0256-46-5858 / Fax.0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM